

コミュニティバス改善案説明会（黒岩地区）

2011年1月17日 13:30～ 黒岩地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつと今まで行ってきた話し合いの経緯の説明があり、その後コミュニティバス改善案説明会が開催されました。

前回までの経緯

21年度は中部病院につなぐということでルートを変えた。

その運行を一年間やってみた結果、運賃収入を除いた運行経費70%以上補助金で賄われた。

ほとんどが補助金で運行されている状況。

現状では、今の規模を維持していくのは厳しい。

今年度、去年の4月から乗降調査をしたり、地域への説明をしたりして今日にいたっている。

5月の時点でコミュニティバスが走っている5地区に現状説明をし、11月にこれからどういう風にするか意見交換をし、そこでの案をふまえて修正した物を持ってきた。

方針

11月に実施した地域説明会でのご意見及びその後の協議をふまえた方針は次の通り

- ・ルートは説明化の通り（二子地区は個別に協議した結果）
- ・運賃は各地区の意見をふまえて「市街地ゾーン内利用の場合のみ150円」とする。他地域は現行通り。
- ・下村発第1便は北上北中学校通学対応を考えて、「大門～川端」フリー区間にて時間調整することとする
- ・祝祭日については原則運休（平成23年度は1週間のうち2日間運休となる週はないが、平成24年度以降両日運休の場合は木、金運行とする）。

確認事項

- ・今後は定期的に各地区において利用促進を市との協働により実施し、収支率50%を目指す事とする。

- ・1年半継続して、収支率が一定基準に満たない場合には抜本的に運行のあり方を見直す
- ・運行の見直しには、路線、ダイヤの再検討、料金の値上げ、地域主体の需要に見合った適正規模の支線交通への切り替えを含む

運行ルートについて

- ・黒岩地区に関しての路線の変更はないが、珊瑚橋を渡らないで日高見橋を渡ってまちなかへ入って行く為、済生会病院やまちなかへ行くには若干遠回りになってしまう。まちなかの幹線区間の運行を週4日運行ダイヤで合わせ利便性をアピールしたい。
- ・利用目的が通院や買い物がほとんどということで、大内整形外科病院や他の病院が並んでいるため 今まで中央図書館を通っていましたが、市役所から北上し陸橋を下り東北電力の辺りを通り西に進み白百合橋の方に入っていくルートの変更を考えています。
- ・飯豊立花黒岩線に関しては八天の里から飯下公民館まで行くルートは変わっていませんが、飯豊地区の中部病院以降に関しては立花黒岩二子更木線と同じように週2日で、火・金曜日の二子更木線に関しては、終点を飯下公民館まで行かないで中部病院までとしたい。
- ・沢目の奥まで来て欲しいとの要望があったが、道が狭かったり（他の車とすれ違えない）バスの回転場が無いということで今回は見合わせになった。しかし、今後条件が整えば考えたい。
- ・以前の説明会で「立花を周らないで早く街から黒岩につないで欲しい」という意見が多かったが、同じ道を何度も走行する上、走行距離も増えるため流石に厳しいという話になりました。

運行時間について

- ・一日4往復で今まで通り。
- ・前回の皆さんの意見情報交換や利用実績をみて

最後の便が非常に少なかった為、まちなかを中心に考え最終4便目の現状15時30分を1時間早めて14時30分に検討させて頂いた。そのため、午前の便で街なかに用足しに来た方も、帰りのバスを待つ時間が短縮される。

運行概要

目標人数は夏に行った情報実績です。今回冬にも情報調査を行い1.5倍の利用者数だった。まちなかに行くにつれて利用者が多かった。冬につれて利用者が多くなるのかなと感じている。来年度以降も出来る限り季節を変えて情報調査を行い、運行の状況を的確に把握していきたい。

意見交換

運行ルートは変わっても済生会の前は停まりますか？

停まります。

さくら野前を15:30発は無くなったのですね。バスの本数自体は変わっていませんが、時間を3時間おきから2時間おきに縮めたかたちです。調子が悪い時や、荷物が多い時は家の近くでバスを止めてくれるので助かりますが、このように利用していいのですか？

フリー区間は好きな所で降りられる仕組みになっています。しかし、後ろの方に座っていて運転手さんに聞こえなかったり、恥ずかしくて声をかけられなかったり、使い勝手があまり良くありません。そこでいい方法がないか事業所の方に相談しているところです。

今回運営協議会の話が出ましたが、2月の説明会ではコミュニティバス地区以外のそれぞれの地域の支線交通どうでしょうか？それに対し市はどう支援出来るのか？という方向性を示すものをつくりたいと考えています。地域計画の中でも公共交通を取り上げている地区があり、まちなかじゃなくてもそれぞれの各地域に関しても視角問題といったところがあります。公共交通をどう考えていくか？という方向性として、それぞれの自治協単位で支線交通口内のような取り組み（ボランティア輸送）を情報提供やアドバイスの話をしたいと考えています。それぞれの地区が運営協議会となるようなかたちで各地区の交通をまちづくりの中にどう位置づけていくか？交通というのはツールの一つなので、それぞれの地区に住み続けるにはどうしたらいいか？普通に買い物するにはどうしたらいいか？地区のまちづくりと一緒にしたものができるませんか？といった時に、それが地区の運営協議会みたいなものとなるのかなと思います。コミュニティバスに関しては全体の企画運営は市で行っていますが、利用促進の分に関してはこれまでと同じように各地区でどういった利用促進策があるのか？といったように考えて頂き、その中で各地区を集めて一緒に考えた方がいいのではないかという声もあれば、5地区を集めて一つの組織とするという考えもあると思います。

今後もいろんな意見など出してもらい協力して頂ければと思います。
引き続きよろしくお願い致します。

